

bxjacalcux パッケージ (v0.2a)

八登崇之 (Takayuki YATO; aka. “ZR”)

2013/05/05

1 概要

pTeX 系エンジンの独自拡張である `zw` や `Q` 等の長さ単位を他のエンジン上の L^AT_EX でも使用可能にする。

■対応フォーマット L^AT_EX。

■対応エンジン 全て。ただし日本語対応環境以外では機能制限がある。

■依存パッケージ

- 本パッケージと同じバンドルに含まれる `bxcalcize`、`bxcalcux`。
- `bxttoolbox` パッケージ (BXbase バンドルに含まれる)
- `calc` パッケージ

2 パッケージの読み込み

`\usepackage` で読み込む。オプションはない。

```
\usepackage{bxjacalcux}
```

3 機能

L^AT_EX において長さを指定するほとんどの箇所^{*1}において以下にあげる「pTeX 独自の長さ単位」が使えるようになる。

- `Q`、`H` : 0.25mm に等しい。
- `trueQ`、`trueH` : 0.25truemm に等しい。
- `zw`、`zh` : 以下の環境でのみ使用可能。
 - (pTeX 系では元々使用可能である。)

^{*1} 正確には「`calc` パッケージの数式が使用可能な箇所」である。ただし、`bxcalcize` パッケージで拡張されているので標準の L^AT_EX 命令についてはほぼ完全対応だと思われる。TikZ パッケージのように独自の数式解析器ライブラリを用いているものは残念ながら対象外となる。

- Lua $\mathrm{T}_{\mathrm{E}}\mathrm{X}$ -ja を使用する場合は、各々 $\backslash\mathrm{zw}$ 、 $\backslash\mathrm{zh}$ と等しくなる。
- BXjscls バンドルの文書クラスを使用する場合は、ともに $\backslash\mathrm{jsZw}$ と等しくなる。

4 詳細説明

このパッケージは以下のように動作している。

1. calc、bxcalcize、bxcalcux パッケージを読み込む。
2. 前述の「 $\mathrm{pT}_{\mathrm{E}}\mathrm{X}$ の単位」を bxcalcux の $\backslash\mathrm{DeclareCalcUnit}$ 命令を利用して定義する。

なお、エンジンが $\mathrm{pT}_{\mathrm{E}}\mathrm{X}$ 系である場合は 2 の動作は行わないが、他のエンジンとの挙動を合わせるため 1 は行っている。